

II 保育・教育機関担当者、読み聞かせボランティア等の意見及びパブリックコメント

〈保育・教育機関担当者等、読み聞かせボランティア等のご意見〉

対象:認定こども園・船生保育園・おおみや保育園・船生小学校・玉生小学校・大宮小学校・
小学校図書館司書業務担当者・塩谷中学校・中学校司書業務担当者・日々輝学園高等学校・
町図書館司書業務担当者・保健福祉課子育て支援担当者・生涯学習課図書館担当者
読み聞かせボランティア代表・家庭教育オピニオンリーダーズアイ代表

1	保護者に対して、園でおすすめの本を紹介する。また保育士による読み聞かせや園児が興味を持って絵本を見る環境を整える。
2	0歳児から、絵本の読み聞かせやかみしばい等を実施したいと考えている。保護者へのお便りを通して、読み聞かせの大切さを知らせ、家でも読めるよう協力を求めていく。
3	保護者自身が「絵本っていいな」と思えるよう、親にも読んであげることいいと思う。
4	園や学校などで、環境(機会)を整えても、家庭と連携することは課題だと思う。情報発信しても家庭に響く呼びかけをしなければ利用まではつながらないのではないかな。
5	園としては毎日絵本の読み聞かせは欠かせない。 町のボランティアの方にも協力を頂いている。物語だけではなく、理科系の絵本にもふれ、自然の不思議さへの興味を持たせるようにしている。 大型絵本、かみしばいなどの活用、また物語の劇遊びにつなげることで表現を学ぶ機会にもなっている。
6	家読(うちどく)に関して学校からの呼びかけを充実していきたいが、地域全体で奨励してほしいことでもある。
7	司書の方に整備を手助けいただき、大変ありがたい。(各校1人、常にいるとよりありがたい。)
8	可能な範囲で少しずつでも情報管理や検索のシステムを導入できればいいと思う。
9	幼保から小学校へのスムーズな連携のために担当者が集まり、研修会を行ってみてはどうか。他市町では年に数回行っているところもあり、大変勉強になった。
10	町で子どもに読んでもらいたい本を町として選定し、必読図書として取り組んでみてはどうか。
11	学校図書室充実のために各校に1人常勤の図書事務がいるとありがたい。 ローテーションのやり方を工夫すれば、夏休みの図書室開放も可能になるのでは。
12	「子ども読書の日」は新年度すぐ(4月23日)なので、前年度末から準備が必要だと思う。
13	中学校で実施されている、ボランティアによるブックトークを小学校でも実施してみたい。
14	家庭によっては家で本を読みことが難しい子もいるので、町の公共施設において読書環境が整い、そこで本を読むことができることは、その子どもにとっても心の支えにつながると思う。
15	家読(うちどく)に関して、読書をしている姿をとらえ、家の人がほめてあげることが第一になると思う。
16	読書を苦手としている子どもへも、自分が読んでみて面白かった本を紹介し興味を促したい。
17	漫画であれ、ライトベルであれ、具体的に生徒たちが「何を読んでいるか」を知ることができると、図書室でそれに関する本を薦めるきっかけになると思う。
18	町図書館との連携は必要と考える。総合的な学習でニッチ(すき間の意味)な本を探している生徒に「図書館にはないけど、町図書館にあるから取り寄せる」ということができると助かる。
19	町図書館から小学生向けの良書を選んで頂いて、学校単位で貸し出して頂けるといいと思う。
20	生徒達が「読みたい」という本と「読んでもらいたい」と思う本のすりあわせができると読書活動の活性化につながると思う。
21	高校生においても読書への親しみを促すための学校における具体的な取り組みをベースに検討していきたいと考える。
22	保育園児の家庭では朗読のCD等を貸し付けしてもいいのでは?保護者の時間的なゆとりができるし、子どもが本に興味をもつきっかけになると思う。
23	読み聞かせボランティアの募集を工夫して、広く増やしていくと良いのではないかな。 また本の選び方や読み方等の学習会を開いてもらえるとありがたい。
24	児童たち、生徒たちの読み聞かせやブックトークでどんな本を読んで欲しいか、紹介して欲しいかなど、学校の希望を聞いてみたい。

25 不読率について、小中は改善傾向にあるが、高校生に課題がある。学校での読書タイムが有効なのではないか。読書習慣の定着の点でまだ課題が多いのではないか。
26 お父さんの読み聞かせの奨励やビブリアバトルのような取り組みがあってもよい。
27 図書館審議委員会と学校図書館担当との情報交換の場があるといいと思う。